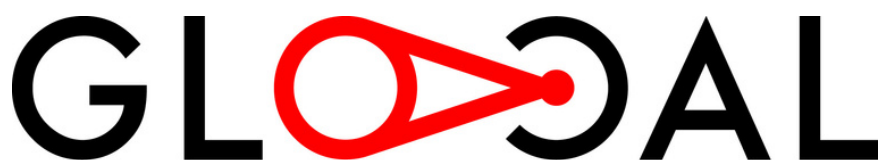


地域企業と連携した 次代の京都の担い手育成事業 年次報告書



Glocal Human Resources Development Center

特定非営利活動法人グローバル人材開発センター

目次

I.事業概要	p.1
--------	-----

II.活動概要	p.3
---------	-----

III.プロジェクト紹介	p.7
--------------	-----

1. はかりしれないイシダとはかる未来プロジェクト（株式会社イシダ）
2. GLOCAL SUMMER PBL CAMP 2022（菅原精機株式会社）
3. GLOCAL SUMMER PBL CAMP 2022（洛西紙工株式会社）
4. 未来を灯すあかりの輪プロジェクト（有限会社中村ローソク）
5. 業界探究プロジェクト～地域金融機関の役割とおせっかいバンカーとは？～（京都信用金庫）
6. キッチンが世界をつなぐプロジェクト（株式会社 Q's）
7. GLOCAL WINTER PBL CAMP～地域が盛り上がる場づくり～（株式会社サーカスコーヒー）
8. GLOCAL WINTER PBL CAMP～地域や産地の魅力を活かした提案～（株式会社ニッセン）
9. GLOCAL WINTER PBL CAMP～学生が京都企業で働ききっかけ作り～（株式会社フラットエージェンシー）

活動写真集

I.事業概要

Ⅰ.「地域企業と連携した次代の京都の担い手育成事業」概要

1.概要

京都市では、令和3年8月に策定した「京都市行財政計画」における「都市の成長戦略」として、「若い世代に選ばれる千年都市」をはじめ、5つの都市デザインを掲げ、京都で学ぶ留学生を含む学生（以下、「学生」という。）を対象に京都への愛着や関心を醸成する各種の取組を通じ、京都を愛する京都ファンの確保、さらには学生の市内での定住促進・次代の京都の担い手育成という好循環につながる都市を目指している。この取組の一環として、京都の地域企業（以下、「地域企業」という。）と連携し、学生が就活前の早い段階から様々な分野の地域企業と出会い、そして関心を持つ場づくりを通じ、次代の京都の担い手をはぐくむきっかけづくりを図る。また、学生が実地で企業が直面している各種の課題解決型学習に取り組む事業を推進する。

2.趣旨・目的

大学や国籍の枠を超えた留学生を含む学生を、グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持った「グローバル人財」^{（注1）}として育成するとともに、学生と企業がお互いを知る機会を創出することを目的とする。具体的には、多様な主体からなる学生チームによる、京都企業との骨太な連携プロジェクト（PBL型）^{（注2）}と京都企業と学生の出会いの場として交流会を実施する。

- ① グローバル人財の育成
- ② 学生と企業の出会いの機会創出
- ③ 学生へのグローバルかつ実践的な協働経験の創出

（注1） グローバル人財：グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持つ人財

（注2） PBL:アクティブラーニングに位置づけられる実践的教育手法
Project Based Learning（課題解決型学習）

II.活動概要

II.活動概要

■概要

地域企業と連携した次代の京都の担い手育成事業を受託した、特定非営利活動法人グローバル人材開発センター（以下、略称：グローバルセンター）が、企業と連携した PBL（課題解決型学習）型プロジェクトの開発・運営と京都企業と学生の出会いの場としての交流会の企画・運営を行った。企業が抱えている課題や地域の社会課題をテーマに設定し、企業とグローバルセンターがともにプロジェクト化し、大学の垣根を越えた学生の混合チームで取り組んだ。チームは留学生を含む大学生・大学院生による 5 名程度のチームで構成されており、学生はプロジェクトを通じて、社会における実践的な力を養い、連携企業についての知識はもちろんのこと「働く」や「仕事」について深く学び、考えるマインドを身に付けた。

プロジェクト開始時に京都企業に関するレクチャーを実施し、企業を見る目を養い、日々の企業との連携から京都企業の魅力を体感し、京都企業の魅力を知る機会が創出されるよう、プロジェクトの設計を行った。

これからの社会と企業活動はますますグローバル化し、かつボーダレス化していく。本事業では、こうした将来の社会を見据え、学生時代から、多様な文化的背景・社会的背景を持つ主体から構成される集団において、リーダーシップ・フォロワーシップの経験を積むことができるよう、プロジェクトの開発・運営を進めた。

交流会では、企業と学生がフラットな関係で相互理解を深めるため、対話をベースとしたワークショップの設計を行った。ワールドカフェやフィッシュボウルという対話の手法を用いることで、参加者全員に発話の機会を設け、両者の細かなニーズを満たす工夫を行った。

令和4年度＜参加人数・プロジェクト数＞

参加学生

56人



日本人学生

52人

留学生

4人

実施プロジェクト数

9プロジェクト

9年間（H26～R4年度）の実績

参加学生数・プロジェクト数

参加学生数

565人

日本人学生

454人

留学生

111人

プロジェクト数

91プロジェクト

参加学生の所属大学一覧

【大学】

- ・大谷大学
- ・京都大学
- ・京都教育大学
- ・京都先端科学大学
- ・京都外国語大学
- ・京都工芸繊維大学
- ・京都産業大学
- ・京都情報大学院大学
- ・京都女子大学

- ・京都精華大学
- ・京都造形芸術大学
- ・京都橘大学
- ・京都府立大学
- ・京都文教大学
- ・花園大学
- ・同志社大学
- ・同志社女子大学
- ・佛教大学
- ・龍谷大学

・立命館大学

- ・京都経済短期大学
- ・京都外国語短期大学
- ・光華女子大学
- ・ノートルダム女子大学
- ・京都嵯峨芸術大学

計

25大学・大学院

【大学院】

- ・京都産業大学大学院
- ・京都大学大学院

※前事業である、「京都企業と連携した次代の京都を担う人財（担い手）育成事業（略称：グローバル人財育成事業）」と合わせて9年目となる

連携・協力先＜企業・団体＞

74 企業・団体

京都信用金庫

株式会社ケービデバイス
株式会社ブリッジコーポレーション
和晃技研株式会社
京都高度技研研究所(ASTEM)
京都朱雀ロータリークラブ
NPO法人クリエイター育成協会
株式会社MIYACO
株式会社太鼓センター
都タクシー株式会社
株式会社大垣書店
岩井木材株式会社
株式会社リーフ・パブリケーションズ
株式会社CRETARIA
株式会社特殊高所技術
株式会社レドネスタ
京都観光オープンデータ協議会
有限会社中小企業診断所エス・ピー・シー
日新電機株式会社
株式会社丸嘉
西垣金属工業株式会社
東邦電気産業株式会社
生田グローバル株式会社
飯山電鉄株式会社
株式会社フラットエージェンシー
株式会社フーズジャパン

佐々木酒造株式会社
京都オスカークラブ
株式会社ドレスクリエイト
NPO法人 OUEEN JAPAN
株式会社三笑堂
株式会社ビジネスプラスサポート
株式会社メディアエージェンシー
株式会社フジタ
株式会社川勝総本家
株式会社キヤミー
株式会社worldlink&company
株式会社世代継承活学社
増田産業有限会社
株式会社ヒューマンフォーラム
株式会社OPA
株式会社ライフ住宅販売
株式会社タナベ
株式会社伴戸商店
株式会社大東技研
株式会社陶あん
株式会社エクスクラメーション・スタイル
株式会社営勤商店
株式会社サン食品
西南ロータリークラブ
堀川と堀川通りを美しくする会
京都中小企業家同友会

株式会社ジーユー
京料理 二傳
株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所
株式会社坂製作所
株式会社クレバー
三浦映像彫刻所
丸太町地区飲食店9店舗
株式会社たまゆら
株式会社アグティ
一般社団法人京都試作ネット
株式会社意匠京念珠板倉
株式会社きたやま南山
株式会社カケザン
株式会社福寿園
株式会社西浅
株式会社イシダ
菅原精機株式会社
洛西紙工株式会社
有限会社中村ローソク
株式会社Q's
株式会社サーカスコービー
株式会社ニッセン

順不同

※前事業である、「京都企業と連携した次代の京都を担う人財（担い手）育成事業（略称：グローバル人財育成事業）」と合わせて9年目となる

令和4年度＜交流会参加人数・企業＞

参加学生数

20人

日本人学生 **8**人

留 学 生 **12**人

交流会実施数

2回

参加企業 **8**社

・大東寝具工業株式会社
・曙産業株式会社
・株式会社ホリゾン
・株式会社進々堂

・株式会社さんせん清水
・三共精機株式会社
・生田グローバル株式会社
・東邦電気産業株式会社

III. プロジェクト紹介

	プロジェクト名	連携企業
	はかりしれないイシダとはかる 未来プロジェクト	株式会社イシダ
	GLOCAL SUMMER PBL CAMP ～モノづくり企業の社内変革～	菅原精機株式会社
	GLOCAL SUMMER PBL CAMP ～ダンボールの未来～	洛西紙工株式会社
	未来を灯すあかりの輪プロジェクト	有限会社中村ローソク
	業界探究プロジェクト ～地域金融機関の役割と おせっかいバンカーとは？～	京都信用金庫
	キッチンが世界をつなぐプロジェクト	株式会社Q's
	GLOCAL WINTER PBL CAMP ～地域が盛り上がる場づくり～	株式会社サーカスコーヒー
	GLOCAL WINTER PBL CAMP ～地域や産地の魅力を活かした提案～	株式会社ニッセン
	GLOCAL WINTER PBL CAMP ～学生が京都企業で働くきっかけ作り～	株式会社 フラットエージェンシー

①はかりしれないイシダとはかる未来プロジェクト

連携企業：株式会社イシダ

■実施時期

2022年8月22日～11月17日

■参加者 合計：5名



龍谷大学（1名）
立命館大学（1名）
京都教育大学（1名）
京都女子大学（1名）
京都府立大学（1名）

■学生への課題

株式会社イシダの魅力や特徴を表現したキャッチコピーを、学生目線で考え提案せよ！

■概要

「はかり知れない技術を、世界へ」をスローガンに、世界中のお客様の課題を革新的に解決し、安全・安心で豊かな社会を目指しておられる「イシダ」さん。そんなイシダさんの魅力や特徴を、学生目線で発見し、若者に届けるためのキャッチコピーを考えるプロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

株式会社イシダの魅力を若者に届けるためのキャッチコピーとして4つのキャッチコピーの提案を行った。それぞれ、イシダのあり方＝BEと、イシダが何をしているのか？＝DOを企業訪問や担当者へのインタビューから抽出し、学生目線で表現を考えた。

プロジェクト活動の中で、同業他社との比較や業界研究など、普段の生活では知る機会の少ないBtoB企業について魅力や特徴に触れた。また、株式会社イシダの商品が世界から求められていることや、企業訪問時の工場見学にて、世界にも通用する技術力を目の当たりにしたことから、京都企業が世界でも第一線で活躍していることを学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

アイデアブレインストーミング

課題解決策のアイデア出し

Create

形にする
創造する

企画立案

キャッチコピーについて

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査
提案資料のブラッシュアップ

最終報告

キャッチコピーの提案
企業から学生へのフィードバック

②GLOBAL SUMMER PBL CAMP～モノづくり企業の社内変革～

連携企業：菅原精機株式会社



■実施時期

2022年8月29日～9月2日

■参加者 合計：9名

京都教育大学（2名）
立命館大学（2名内1名留学生）
龍谷大学（1名）
京都産業大学（2名）
京都先端科学大学（1名）
同志社大学（1名）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを提案せよ！

■概要

本プロジェクトは、京都企業2社と連携した短期集中型プロジェクトです。企業の魅力や特徴を学生目線で発見し、それを生かしたSDGsの取り組みを考え提案します。

期間はなんと5日間。大学生の夏休みを活用し、5日間の中で事業を考え、最後は社長へ向けてプレゼンテーションを行います。

■プロジェクトの結果・学生の学び

菅原精機株式会社チームは、若者が働きたくなる会社づくりのためにできることをテーマに課題解決に取り組み、洛西紙工株式会社チームは、段ボールを通じた社会課題解決のビジネスの提案というテーマに取り組んだ。

菅原精機株式会社チームは、企業訪問時の工場見学やオフィス見学の中から、モノづくり企業としての唯一無二の技術力やモノづくりの現場で女性が活躍している姿、社員が働きやすい環境を来るための努力を知った。

特に、社員への福利厚生充実を目的に改築された社員食堂と、担当者インタビューでお聞きした、創業当初の地域住人の個人の依頼にも応えていた地域密着にストーリーから、社員食堂を地域住人へ開放することで、地域に愛される企業を目指す提案を行った。また、社内の風通しを良くするための社員食堂の新らたな活用法の提案も行った。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

課題解決策の企画

Create

形にする
創造する

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

社内変革アイデアの提案
企業から学生へのフィードバック

③GLOBAL SUMMER PBL CAMP～ダンボールの未来～

連携企業：洛西紙工株式会社



■実施時期

2022年8月29日～9月2日

■参加者 合計：9名

京都教育大学（2名）

立命館大学（2名うち1名留学生）

龍谷大学（1名）

京都産業大学（2名）

京都先端科学大学（1名）

同志社大学（1名）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを提案せよ！

■概要

本プロジェクトは、京都企業2社と連携した短期集中型プロジェクトです。企業の魅力や特徴を学生目線で発見し、それを生かしたSDGsの取り組みを考え提案します。

期間はなんと5日間。大学生の夏休みを活用し、5日間の中で事業を考え、最後は社長へ向けてプレゼンテーションを行います。

■プロジェクトの結果・学生の学び

洛西紙工株式会社チームは、工場見学で知ったお取引先1社1社のニーズに合わせた製品づくりや、段ボールの加工しやすさの特徴を知った。

学生たちからは、地域企業だからこそその柔軟な仕事と、採用する際は必ず正社員で採用するという社長にこだわり、繁忙時期の偏りという洛西紙工株式会社の特色から、繁忙期以外の時間に社員の皆様のアイデアを募集し、社員一人ひとりの個性を生かす取り組みの提案や、地域の子供たちとの交流を通じた地域貢献、地域のニーズをしる機会づくりの提案を行った。

2チームが合同で活動を行うことで、それぞれのチームでの学びや企業の魅力や特徴を共有しながら進めることができ、1度の機会が多様な企業との出会いの機会となった。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

課題解決策の企画

Create

形にする
創造する

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

ダンボールの新たな活用の提案
企業から学生へのフィードバック

④未来を灯すあかりの輪プロジェクト

連携企業：有限会社中村ローソク



■実施時期

2022年10月13日～12月14日

■参加者 合計：6名

立命館大学（2名）

京都産業大学（1名）

同志社大学（2名）

京都府立大学（1名）

■学生への課題

学生目線で和蠟燭×○○を考え、和ろうそくを日常使いし、暮らしに彩りを添える方法を提案せよ！

■概要

1887年（明治20年）。125年以上もの間、和・京蠟燭を作り続けておられる中村ローソクさんと一緒に、伝統の技術、和蠟燭の魅力を未来につなげるための新たな和蠟燭のアイデアを学生目線で考え提案、プロトタイピング（実践）、販売まで行うプロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

和蠟燭を若者世代・将来世代へ伝えるための商品アイデアとして、着物をモチーフとした和蠟燭ホルダーや、若者がプレゼントとして送ることができるような誕生月の12星座をあしらった和蠟燭のデザイン、インバウンド需要を狙ったパッケージデザインなど、各メンバー一人ずつ提案を行った。

和蠟燭という伝統工芸品の製造現場の見学や、田川社長が和蠟燭に込める想いを直接伺ったことで、京都の職人の守り続けてきた伝統と時代に合わせて柔軟に新しいアイデアを取り入れ変化を受け入れていく革新のバランスや魅力を学んだ。

学生の提案したデザインのアイデアは田川社長より実現に向けて制作を進めていただくこととなった。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査
和燭について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

和燭を使ったアイデアの
企画立案

Create

形にする
創造する

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

和燭を用いた新商品の企画提案
企業から学生へのフィードバック

⑤ 業界探究プロジェクト ～地域金融機関の役割とおせっかいバンカーとは？～

連携企業：京都信用金庫



■実施時期
2022年12月8日

■参加者 合計：11名

京都女子大学（2名）
立命館大学（1名）
龍谷大学（3名）
京都産業大学（3名）
京都先端科学大学（1名）
同志社大学（1名）

■学生への課題

京都信用金庫の魅力を学生目線で発見し、既存のインターンシップの改善策を考え提案せよ！

■概要

コミュニティバンクとして、地域社会の発展、地域の絆づくりを手掛けておられる京都信用金庫さんの魅力を学生目線で発見し、既存のインターンシップの改善策を考え提案するワークショップ型プロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

京都信用金庫の金融機関としての先進的な取り組みや100年前から続く「コミュニティバンク」としての姿勢を学んだ学生たちは、QUESTIONビルでの長期インターンシップの提案や、取引先企業でもある地域企業と連絡した課題解決型インターンシップの提案を行った。

100年の歴史があり、長い間京都企業との取引をしてきた京都信用金庫だからこそ見える京都の未来像や、これからの地域金融機関のあり方について、人事部の皆様からのお話や理事長の言葉から業界への理解を深めることができた。

学生は、地域金融機関がグローバルな金融動向にも目を向けながら、地域のための課題解決を行う姿勢から、業界の未来や金融機関で働くことの意義やその役割について学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査
地域金融機関について調査

Think

アイデアを出す
発想する

アイデアブレインストーミング

課題解決策のアイデア出し

Create

形にする
創造する

ワークショップ

企業と学生のグループワーク

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

企業からのフィードバックを受け
企画の修正

最終報告

インターンシップのアイデアの提案
企業から学生へのフィードバック

⑥キッチンが世界をつなぐプロジェクト

連携企業：株式会社Q's



■実施時期

2022年12月9日～2023年3月9日

■参加者 合計：6名

京都女子大学（1名）

立命館大学（3名）

龍谷大学（1名）

同志社大学（1名）

京都府立大学（1名）

■学生への課題

「50年後に日本食になる料理」をテーマにした異文化交流イベントを企画・実施せよ！

■概要

京都を拠点として、みんなにあたたかい食卓がある地域社会を目指し、食領域の課題解決を行うコーディネーターとして活動されておられる株式会社Q'sさんと一緒に京都に住む留学生と「50年後に日本食になる料理」をテーマにした異文化交流イベントを企画・実施するプロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

株式会社Q'sの考える「CO-Cooking」や「コミュニティ・キッチン」について学んだ学生は、多国籍で多様な人と文化が交流できるイベントとして世界の料理を使ったグローバルなお弁当をみんなで作る企画「ベントーク」の提案を行った。

「食」を通じた人と人とのつながりや飲食業を営む企業のこだわりについて株式会社Q'sよりレクチャーを受け、京都の持つ食文化の多様性を守る飲食業の世界からみた価値を再認識した。

学生は、文化としての「食」だけでなく、企業活動と街を構成する「食」について学んだことで、京都の飲食企業の持つ文化と生活を守る社会的役割について学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査
食に関する業界調査

Think

アイデアを出す
発想する

アイデアブレインストーミング

課題解決策のアイデア出し

Create

形にする
創造する

企画立案

食をテーマにしたイベントの企画

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

企業からのフィードバックを受け
企画の修正

イベントの実施

お弁当をテーマにした食イベントの実施
企業から学生へのフィードバック

⑦GLOBAL WINTER PBL CAMP～地域が盛り上がる場づくり～

連携企業：株式会社サーカスコーヒー



■実施時期

2023年2月27日～3月3日

■参加者 合計：9名

京都教育大学（1名）

立命館大学（1名）

龍谷大学（1名）

京都産業大学（3名）

同志社大学（2名）

京都大学（1名留学生）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを提案せよ！

■概要

本プロジェクトは、京都企業3社と連携した短期集中型プロジェクトです。企業の魅力や特徴を学生目線で発見し、それを生かしたSDGsの取り組みを考え提案します。

期間はなんと5日間。大学生の春休みを活用し、5日間の中で事業を考え、最後は社長へ向けてプレゼンテーションを行います。

■プロジェクトの結果・学生の学び

サーカスコーヒーチームは、「地域の人が協力してイスづくり」や「コーヒーを使った料理教室」、「コーヒー×街の清掃活動」など、珈琲を通じて地域が盛り上がる多様な場づくりについて提案を行った。学生はサーカスコーヒーが大切にしているコンセプトを軸にSDGsや持続可能性、ゴミや余計なコストを出さない視点でアイデアを考えた。企業担当者からは、「コーヒーを飲む人だけでなく飲めない人も巻き込むことの大切さに気づけた」「自分たちがどんな思いをもって活動しているか改めて考え直すことができた」と講評いただいた。

企業訪問では、お客様へコーヒー豆の紹介・販売しているところや、コーヒー豆カスを再利用業者が回収する場面を見ることで、企業の魅力だけでなく周辺地域の人の暖かさや地域に愛される様子・場面に触れた。また、提案を考える際に周辺の地域企業や地域の特徴をリサーチ・ヒアリングをすることで、企業だけでなく京都のまちの魅力を学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

課題解決策の企画

Create

形にする
創造する

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

コーヒーを通じた地域活性化案の提案
企業から学生へのフィードバック

⑧GLOBAL WINTER PBL CAMP～地域や産地の魅力を活かした提案～ 連携企業：株式会社ニッセン



■実施時期

2023年2月27日～3月3日

■参加者 合計：9名

京都教育大学（1名）
立命館大学（1名）
龍谷大学（1名）
京都産業大学（3名）
同志社大学（2名）
京都大学（1名留学生）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを提案せよ！

■概要

本プロジェクトは、京都企業3社と連携した短期集中型プロジェクトです。企業の魅力や特徴を学生目線で発見し、それを生かしたSDGsの取り組みを考え提案します。

期間はなんと5日間。大学生の春休みを活用し、5日間の中で事業を考え、最後は社長へ向けてプレゼンテーションを行います。

■プロジェクトの結果・学生の学び

ニッセンチームは、企業の新ブランドを活用し、廃棄予定の日本製品布生地背景やルーツを地域密着型でどう知ってもらい消費者に届けるのかという観点で提案を行った。顧客の声をすぐ反映することができるニッセンの強みを活かしてサブスクリプションや京都市を拠点とする大型のフェスティバルといったアイデアを学生は考えた。

企業担当者は「学生の新鮮な意見をいただき、大変参考になった」「ゲームやクイズで伝えるという発想は出てこなかったのも、楽しんで伝えることの発見になった」と講評いただいた。

企業訪問では、製品になる前の生地や、BtoB企業で取り扱われる製品に触れ、普段触れることができない京都企業について魅力や特徴に触れた。また、ニッセンの様々な部門長に話を伺うことで、京都で働くことの良さや、働きがいを知った。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

課題解決策の企画

Create

形にする
創造する

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

B反を用いたビジネスモデルの提案
企業から学生へのフィードバック

⑧GLOCAL WINTER PBL CAMP～京都企業で働くきっかけ作り～ 連携企業：株式会社フラットエージェンシー



■実施時期
2023年2月27日～3月3日

■参加者 合計：9名

京都教育大学（1名）
立命館大学（1名）
龍谷大学（1名）
京都産業大学（3名）
同志社大学（2名）
京都大学（1名留学生）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを提案せよ！

■概要

本プロジェクトは、京都企業3社と連携した短期集中型プロジェクトです。企業の魅力や特徴を学生目線で発見し、それを生かしたSDGsの取り組みを考え提案します。

期間はなんと5日間。大学生の春休みを活用し、5日間の中で事業を考え、最後は社長へ向けてプレゼンテーションを行います。

■プロジェクトの結果・学生の学び

フラットエージェンシーのSDGsの取り組みや企業の魅力から派生させ、学生が京都で学び成長できる場を提供し、京都企業を知ってもらえる仕組みを提案した。学生が京都に住み続ける・働きたいと思うニーズリサーチや、京都企業と府外企業比較や業界研究を行うことで京都から学生が離れてしまう原因を考え担当者へ共有をした。

企業担当者からは、「普段プライベートでの関りがあるが、事業でのアプローチをしていなかった企業を知ることができた」「既存の事業を斬新に活用するアイディアを知ることができた」と講評いただいた。

学生は企業担当者からフラットエージェンシーが大学との連携事例や、学生キャリアアップを図るキャリアバの活動事例などをインタビューすることで、不動産会社が地域を盛り上げる活動を行う想いや背景を知った。フラットエージェンシーの京都企業との連携事例を通して京都企業の声を聞き、企業はただ事業をするだけでなく、それぞれ企業が京都・地域のために取り組んでいることや、企業同士が連携をし地域を盛り上げるといった京都企業の魅力を知った。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

課題解決策の企画

Create

形にする
創造する

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

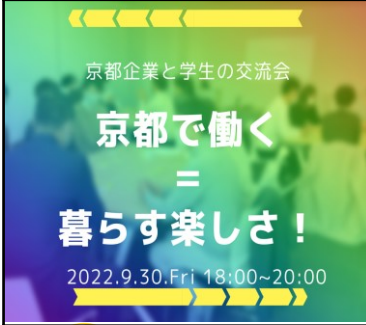
実行する

企画のブラッシュアップ

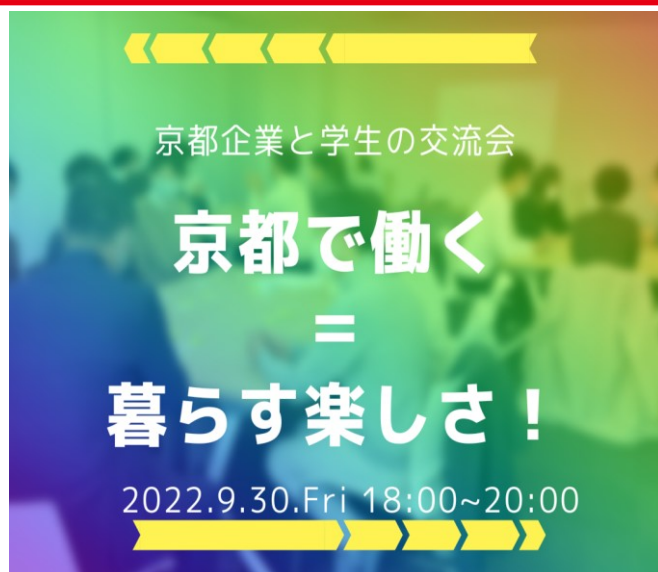
追加調査

最終報告

京都企業の魅力発信案の提案
企業から学生へのフィードバック

	交流会のテーマ	参加企業
	京都で働く = 暮らす楽しさ	株式会社さんせん清水 株式会社進々堂 東邦電気産業株式会社
	留学生向け京都企業と話そう！ ～京都ではたらくことについて～	大東寝具工業株式会社 曙産業株式会社 株式会社ホリゾン 株式会社さんせん清水 三共精機株式会社 生田グローバル株式会社

交流会 京都企業と学生の交流会「京都で働く＝暮らす楽しさ」



- 実施日時
2022年9月30日18：00～20：00
- 参加企業 合計：3社
株式会社さんせん清水
株式会社進々堂
東邦電気産業株式会社
- 参加学生 合計：10名

■開催概要

第一回京都企業と学生の交流会「京都で働く＝暮らす楽しさ！」は、京都企業と学生が、就職・採用活動ではないゆるやかな、出会いの場として、京都で「働く＝暮らす」魅力についてホンネで語り合う対話型ワークショップ交流会。

交流会 「留学生向け京都企業と話そう～京都ではたらくことについて～」



- 実施時期
2022年12月26日14：00～17：00
- 参加企業 合計：6社
大東寝具工業株式会社
曙産業株式会社
株式会社ホリゾン
株式会社さんせん清水
三共精機株式会社
生田グローバル株式会社
- 参加学生 合計：10名

■開催概要

京都企業で働くこと、京都に暮らすことの魅力を語り、京都で働くイメージを具体的に持つことができるだけでなく、企業人からみた京都、学生から見た京都の二つの視点を共有することでお互いの理解を深める対話型ワークショップ交流会。

プロジェクト活動写真集



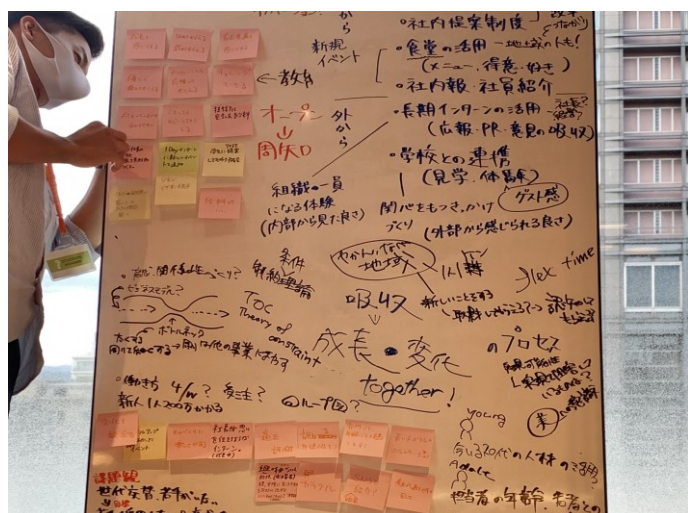
企業訪問の様子①



企業訪問の様子②



企業訪問の様子③



活動の様子



最終報告会の様子



企業と学生の交流イベントの様子①

プロジェクト活動写真集



企業訪問の様子①



企業訪問の様子②



活動の様子①



活動の様子②



活動の様子③



活動の様子④

プロジェクト活動写真集



学生と企業の交流会の様子①



学生と企業の交流会の様子②



企業訪問の様子①



企業訪問の様子②



企業訪問の様子③



企業訪問の様子④

プロジェクト活動写真集



活動の様子①



活動の様子②



活動の様子③



最終報告会の様子①



最終報告会の様子②



最終報告会の様子③

地域企業と連携した次代の京都の担い手育成事業
令和4年度 年次報告書

発行 令和5年3月

編集 特定非営利活動法人グローカル人材開発センター
〒602-8061

京都市上京区油小路中立売西入ル甲斐守町 97 番地

西陣産業創造会館（旧西陣電話局）2 階

☎075-411-5010